

4 国際犯罪

被疑者の国外逃亡事案

ア 国外逃亡被疑者数

平成14年末現在の国外逃亡被疑者数は625人で、前年に比べ72人増加している（図表3 - 30）。

図表3 - 30 国外逃亡被疑者数の推移

年次	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14
国外逃亡被疑者数	306人	308	349	293	341	381	460	517	553	625

イ 罪種別の国外逃亡被疑者数

平成14年末現在の国外逃亡被疑者数625人のうち、刑法犯被疑者534人を包括罪種別にみると、凶悪犯が182人で最も多く、次いで窃盗犯が176人、知能犯が115人となっている。次に、特別法犯被疑者91人についてみると、薬物事犯が39人で最も多い（図表3 - 31）。

図表3 - 31 罪種別国外逃亡被疑者数

		人員		構成比	
			うち日本人		うち日本人
刑 法 犯	凶悪犯	182人	15人	29.1%	12.4%
	粗暴犯	30	11	4.8	9.1
	窃盗犯	176	12	28.2	9.9
	知能犯	115	51	18.4	42.1
	風俗犯	8	4	1.3	3.3
	その他	23	6	3.7	5.0
	小計	534	99	85.4	81.8
特 別 法 犯	薬物事犯	39	15	6.2	12.4
	銃刀法	5	2	0.8	1.7
	入管法	30	0	4.8	0.0
	その他	17	5	2.7	4.1
	小計	91	22	14.6	18.2
合	計	625	121	100.0	100.0

注：1人の被疑者につき数罪ある場合には、重い罪で計上した。

ウ 国籍別の国外逃亡被疑者数

平成14年末現在の国外逃亡被疑者数625人を国籍（地域）別にみると、日本人被疑者が121人（19.4%）となっている。

外国人被疑者では、中国人が254人（40.6%）となっており、前年に引き続き、中国人の数が際立って多い（図表3 - 32）。

図表3 - 32 国籍別国外逃亡被疑者数

年次		平10	平11	平12	平13	平14
国・地域						
日	本	93人(24.4)	95 (20.7)	111 (21.5)	117 (21.2)	121(19.4)
ア ジ ア 州	韓国・朝鮮	21 (5.5)	33 (7.2)	35 (6.8)	37 (6.7)	38(6.1)
	フィリピン	2 (0.5)	7 (1.5)	7 (1.4)	4 (0.7)	6(1.0)
	中 国	130 (34.1)	163 (35.4)	183 (35.4)	207 (37.4)	254(40.6)
	中国(台湾)	14 (3.7)	9 (2.0)	9 (1.7)	9 (1.6)	12(1.9)
	中国(香港)	15 (3.9)	14 (3.0)	16 (3.1)	10 (1.8)	9(1.4)
	イ ラ ン	18 (4.7)	16 (3.5)	19 (3.7)	17 (3.1)	19(3.0)
	タ イ	15 (3.9)	20 (4.3)	18 (3.5)	17 (3.1)	13(2.1)
	そ の 他	33 (8.7)	41 (8.9)	52 (10.1)	57 (10.3)	52(8.3)
	小 計	248 (65.1)	303 (65.9)	339 (65.6)	358 (64.7)	403(64.5)
ヨ ー ロ ッ パ 州		5 (1.3)	7 (1.5)	7 (1.4)	12 (2.2)	19(3.0)
南北アメリカ州	アメリカ	0 (0.0)	1 (0.2)	2 (0.4)	3 (0.5)	4(0.6)
	ペ ル ー	7 (1.8)	13 (2.8)	8 (1.5)	6 (1.1)	11(1.8)
	ブラジル	11 (2.9)	22 (4.8)	27 (5.2)	38 (6.9)	39(6.2)
	そ の 他	13 (3.4)	16 (3.5)	18 (3.5)	18 (3.3)	26(4.2)
	小 計	31 (8.1)	52 (11.3)	55 (10.6)	65 (11.8)	80(12.8)
オセアニア・アフリカ州		4 (1.0)	3 (0.7)	5 (1.0)	1 (0.2)	2(0.3)
無国籍・国籍不明		0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0(0.0)
合 計		381 (100.0)	460(100.0)	517(100.0)	553(100.0)	625(100.0)

注：()内は、構成比(%)を表す。

エ 推定逃亡先国（地域）別の国外逃亡被疑者数

平成14年末現在の国外逃亡被疑者数625人を推定逃亡先国（地域）別にみると、中国が122人（19.5%）と最も多く、次いでフィリピンが36人（5.8%）となっている。

また、日本人被疑者の推定逃亡先については、フィリピンが26人（21.5%）と最も多く、次いでアメリカが11人（9.1%）となっている（図表3 - 33）。

図表3 - 33 推定逃亡先国・地域別国外逃亡被疑者数の推移

逃亡先		年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
ア ジ ア 州	韓国・朝鮮		16(5)人	21(3)	26(4)	27(4)	25(4)
	フィリピン		30(26)	30(21)	35(24)	39(31)	36(26)
	中 国		59(8)	81(4)	91(6)	100(7)	122(8)
	中国(台湾)		14(0)	11(3)	9(1)	8(2)	9(2)
	中国(香港)		8(1)	10(2)	11(1)	7(1)	5(1)
	そ の 他		31(8)	36(7)	50(7)	55(6)	54(9)
	小 計		158(48)	189(40)	222(43)	236(51)	251(50)
ヨ ー ロ ッ パ 州		6(2)	4(1)	6(1)	6(2)	12(1)	
南北アメリカ州	アメリカ		15(14)	14(13)	17(16)	16(13)	13(11)
	そ の 他		18(1)	40(2)	43(5)	48(2)	56(2)
	小 計		33(15)	54(15)	60(21)	64(15)	69(13)
オセアニア・アフリカ州		5(0)	4(0)	6(0)	4(0)	4(0)	
不 詳		179(28)	209(39)	223(46)	243(49)	289(57)	
合 計		381(93)	460(95)	517(111)	553(117)	625(121)	

注：()内は、日本人被疑者数を内数で計上した。

オ 犯行日から出国までの期間別の国外逃亡被疑者数

平成14年末現在の国外逃亡被疑者数625人のうち、出国年月日が判明している被疑者は176人(28.2%)である。これを犯行日から出国までの期間別にみると、犯行当日が7人、犯行翌日が11人、2日後が11人となっており、犯行後10日以内に国外に逃亡した者が65人と出国日が判明している者の36.9%を占めている。

さらに、この65人について国籍別にみると、外国人被疑者は50人(76.9%)、日本人被疑者は15人(23.1%)となっている(図表3-34)。

図表3-34 犯行日から出国までの期間別国外逃亡被疑者数

期 間	人 員
犯 行 当 日	7(3)人
犯 行 翌 日	11(3)
2 日	11(2)
3 日	10(2)
4 日	8(1)
5 日 ~ 10 日	18(4)
11 日 ~ 30 日	23(6)
1 月 ~ 2 月未満	21(3)
2 月 ~ 3 月未満	12(1)
3 月 ~ 5 月未満	13(6)
5 月 以 上	42(17)
不 詳 ・ そ の 他	449(73)
計	625(121)

注:()内は、日本人被疑者数を内数で計上した。